

2024年9月の天候（山形県）

目次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位値更新表
- 7 その他

山形地方気象台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L 023-622-0632

[注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田・新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は、後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

1 天候経過（2024年9月）

【今月の特徴】

○高温 ○多雨 ○村山と置賜で寡照

- ・村山、東根、大井沢で21日の日降水量が9月として1位を更新した。
- ・荒沢や大井沢などの5地点で月降水量の多い方からが9月として1位を更新した。

【概況】

月

この期間、上旬は天気が数日の周期で変化した。中旬から下旬のはじめ頃は前線や低気圧の影響により曇りや雨の日が多く、特に20日から22日にかけては前線や低気圧の影響により広い範囲で大雨となった。その後は高気圧に覆われて晴れたが、湿った空気の影響等により曇りの日もあった。また、南から暖かい空気が流れ込み、気温が平年より高い日が多かった。

月平均気温はかなり高い。月降水量は最上でかなり多く、村山と置賜、庄内で多く、かなり多い所もあった。月間日照時間は村山と置賜で少なく、庄内で平年並から多い。最上では平年並から少ない。

上旬

前線や気圧の谷の影響で天気が数日の周期で変化した。

旬平均気温は村山と置賜でかなり高く、庄内と最上で高い。旬降水量は村山と置賜で少なく、かなり少ない所があった。庄内と最上では平年並。旬間日照時間は村山と置賜、最上で平年並、庄内で多い。

中旬

前線や低気圧の影響を受ける日が多く、曇りや雨の日が多かった。特に20日は広い範囲で大雨となり、日降水量が100ミリを超える所があった。

旬平均気温はかなり高い。旬降水量は多い。旬間日照時間は少ない。

下旬

はじめは前線や低気圧の影響で広い範囲で大雨となり、特に21日は日降水量が9月として1位を更新する所があった。その後は高気圧に覆われる日が多く晴れたが、湿った空気の影響等により曇りの日もあった。

旬平均気温は高い。旬降水量は村山と庄内、最上でかなり多く、置賜で多い。旬間日照時間は平年並から少なく、多い所もあった。

2 日々の気圧配置（2024年9月）

- 1日：前線が日本の東から東北地方にのびる。
- 2日：前線が東北地方に停滞する。
- 3日：高気圧が日本海にあって南東へ移動する。一方、北日本は気圧の谷となる。
- 4日：北日本は高気圧に覆われる。
- 5日：東北地方は緩やかに高気圧に覆われる。
- 6日：前線が東北地方を南下する。
- 7日：前線が東北地方に停滞する。
- 8日：引き続き、前線が東北地方に停滞する。
- 9日：高気圧が日本海にあって東へ移動する。
- 10日：東北地方は高気圧に覆われる。
- 11日：前線がオホーツク海から東北北部にのびる。
- 12日：前線が東北地方をゆっくりと南下する。
- 13日：前線が東北地方に停滞する。
- 14日：前線が東北地方に停滞し、前線上の低気圧が日本海にあって東北東へ進む。
- 15日：低気圧が千島近海にあって東北東へ進み、前線が東北地方を南下する。
- 16日：前線が東日本をゆっくり南下する。一方、北日本は高気圧に覆われる。
- 17日：東北地方は高気圧に緩やかに覆われる。
- 18日：前線が東北地方に停滞する。
- 19日：引き続き、前線が東北地方に停滞する。
- 20日：低気圧が東北北部を通過し、前線が東北地方をゆっくり南下する。
- 21日：前線が東北南部に停滞する。
- 22日：前線が日本海から三陸沖にのび、前線上の低気圧が東北地方を通過する。
- 23日：前線が本州の南岸に停滞する。一方、次第に大陸の高気圧が日本海へ移動する。
- 24日：北日本は高気圧に覆われる。
- 25日：引き続き、北日本は高気圧に覆われるが、湿った空気の影響を受ける。
- 26日：引き続き、北日本は高気圧に覆われるが、湿った空気の影響を受ける。
- 27日：北日本を気圧の谷が通過する。一方、次第に大陸の高気圧が日本海へ移動する。
- 28日：東北地方は緩やかに高気圧に覆われる。
- 29日：引き続き、東北地方は緩やかに高気圧に覆われる。
- 30日：北日本は高気圧に覆われる。

3 気候統計値（2024年9月）

・2024年9月の平均気温、降水量、日照時間

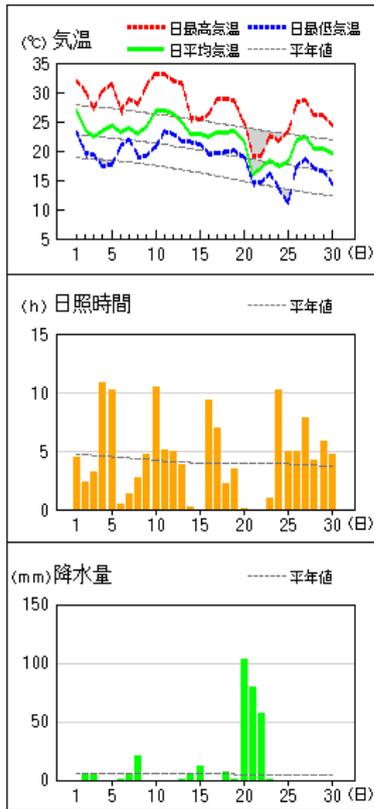
		平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
		本年	平年差 （℃）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分
山形	上旬	25.1	+2.1	かなり高い	8.0	22	少ない	49.4	101	平年並
	中旬	24.5	+3.6	かなり高い	107.0	222	多い	27.4	61	少ない
	下旬	19.4	+1.4	高い	118.0	303	かなり多い	31.9	75	平年並
	月	23.0	+2.4	かなり高い	233.0	188	多い	108.7	80	少ない
酒田	上旬	25.2	+1.4	高い	49.0	89	平年並	74.3	129	多い
	中旬	25.0	+3.3	かなり高い	126.0	176	多い	36.3	72	少ない
	下旬	20.7	+1.5	高い	168.5	338	かなり多い	59.0	118	多い
	月	23.6	+2.0	かなり高い	343.5	195	かなり多い	169.6	108	多い
新庄	上旬	24.2	+1.9	高い	36.5	83	平年並	50.5	109	平年並
	中旬	23.8	+3.7	かなり高い	128.0	242	かなり多い	36.2	90	平年並
	下旬	19.2	+1.9	高い	137.5	315	かなり多い	43.7	114	多い
	月	22.4	+2.5	かなり高い	302.0	215	かなり多い	130.4	104	平年並
米沢	上旬	24.4	+1.9	かなり高い	7.0	18	少ない	51.4	100	平年並
	中旬	24.3	+3.9	かなり高い	79.5	158	多い	34.8	75	少ない
	下旬	19.5	+2.0	高い	60.0	154	多い	34.4	82	平年並
	月	22.8	+2.7	かなり高い	146.5	114	多い	120.6	86	少ない

注】次の表示 X:欠測) : 準正常値] : 資料不足値 - : 現象なし (平年値は1991～2020年の平均値)

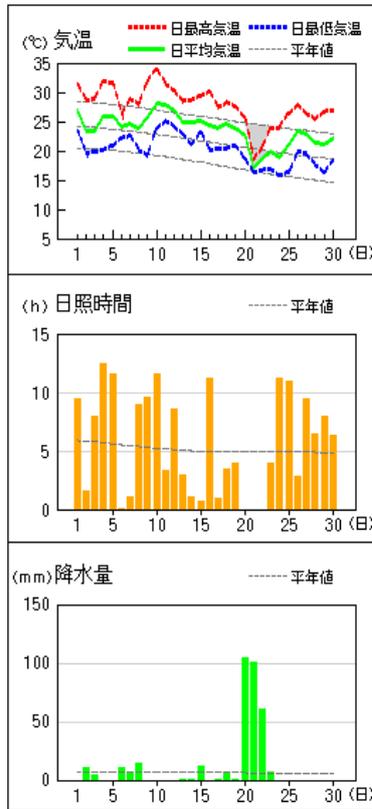
4 気象経過図（2024年9月）

アメダス 気象経過図：2024年09月01日-2024年09月30日

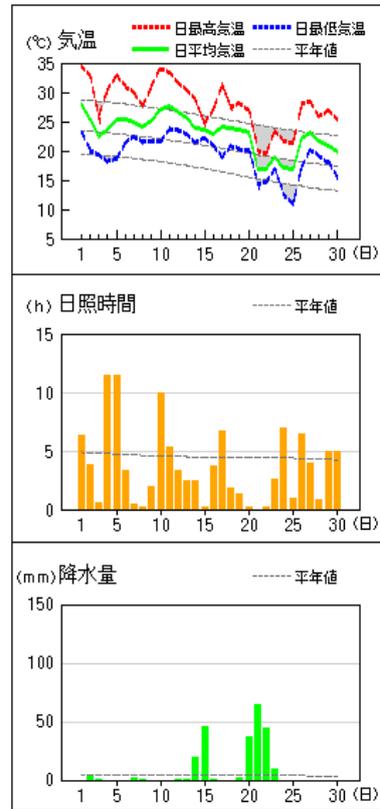
新庄



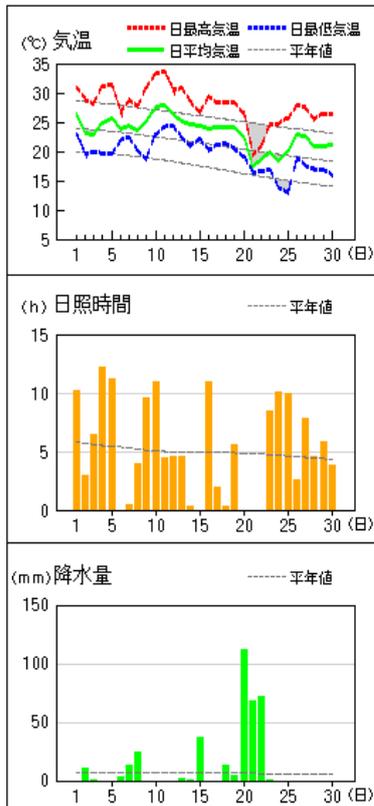
酒田



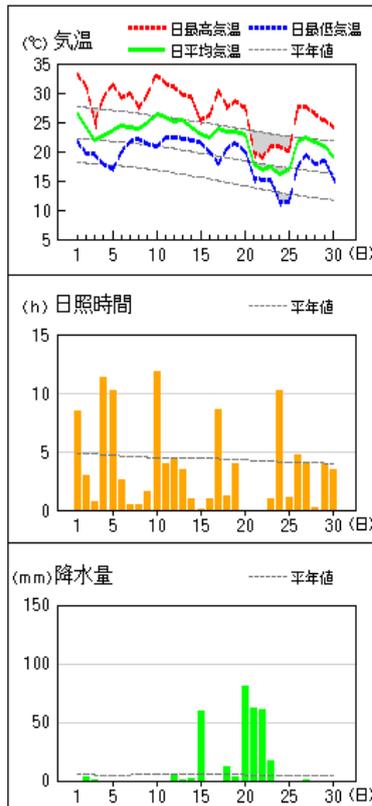
山形



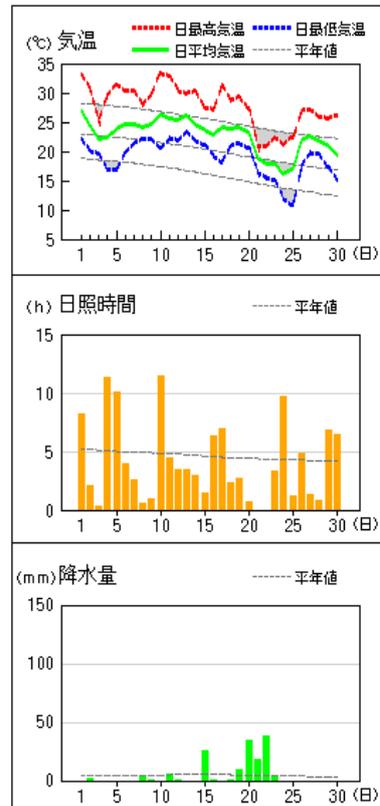
鶴岡



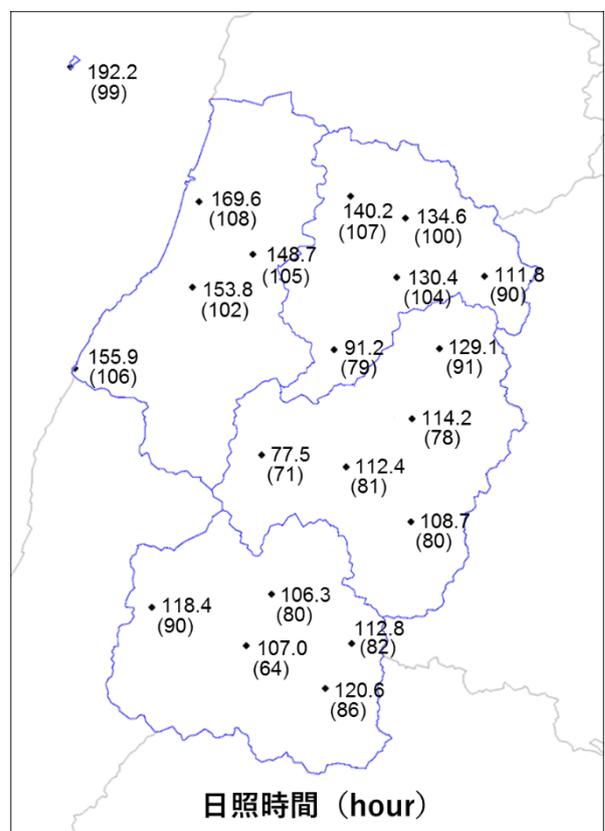
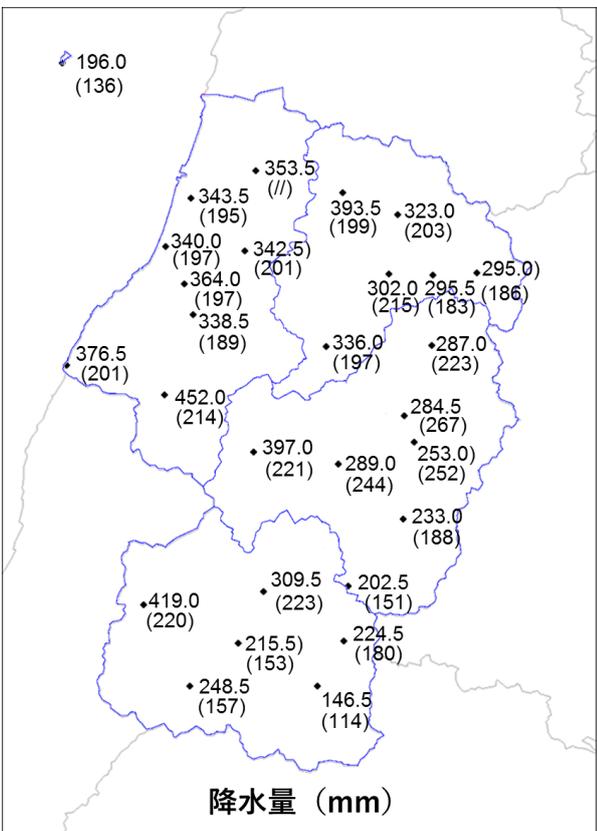
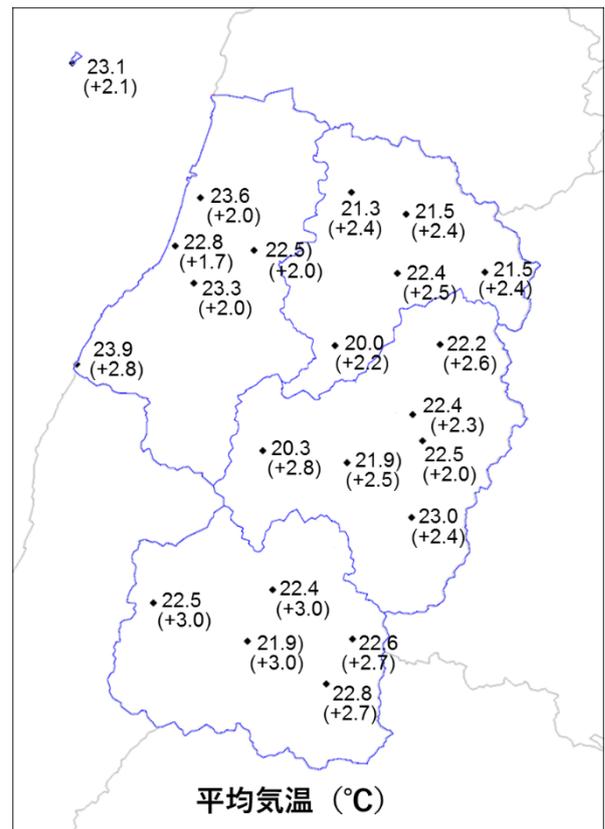
長井



米沢



5 気象分布図（2024年9月）



注】Xは欠測、)は準正常値、]は資料不足値を示す。

平均気温の()内は平年差(°C)、降水量の()内は平年比(%)、日照時間の()内は平年比(%)を示す。

//は平年値なし。平年値は1991~2020年の平均値。

6 極値・順位値更新表 (2024年9月)

気象官署及び特別地域気象観測所(山形・酒田・新庄): 9月として1位~3位更新を記載

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日降水量 (mm)	新庄	103.0	2	20日	1957年
日最大1時間降水量 (mm)	酒田	68.5	2	20日	1937年
	新庄	40.5	2	20日	1957年
月最大24時間降水量 (mm)	酒田	114.5	3	21日	1962年
	新庄	105.5	2	20日	1957年
月降水量の多い方から (mm)	新庄	302.0	2	—	1957年
月平均気温の高い方から (℃)	山形	23.0	3	—	1889年
	酒田	23.6	3	—	1937年
	新庄	22.4	3	—	1957年

※同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

地域気象観測所(山形・新庄・酒田除く): 9月として1位更新を記載(統計期間10年以上)

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日降水量 (mm)	村山	100.0	1	21日	2002年
	東根	108.0	1	21日	2003年
	大井沢	139.0	1	21日	1979年
日最大1時間降水量 (mm)	瀬見	31.0	1	20日	1976年
	櫛引	37.0	1	20日	1977年
	尾花沢	33.0	1	15日	1976年
	東根	28.5	1	21日	2003年
	小国	68.5	1	20日	1976年
月最大24時間降水量 (mm)	東根	109.0	1	22日	2003年
	大井沢	139.0	1	22日	1979年
月降水量の多い方から (mm)	荒沢	452.0	1	—	1979年
	村山	284.5	1	—	2002年
	東根	253.0	1	—	2003年
	大井沢	397.0	1	—	1979年
	左沢	289.0	1	—	1976年

※同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

7 その他

なし

※各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は、気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】 <https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>
 【気象データのダウンロード(CSV)】 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>
 【季節予報】 https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=060000